

平成 25 年度まちづくり月間 まちづくり功労者国土交通大臣表彰

国土交通省では、豊かでうるおいのあるまちづくりを推進するため、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくり功労者に対する国土交通大臣表彰等の様々な啓発活動を実施しています。

平成25年度は、「まちづくり功労者」として全国で37団体が表彰され、茨城県では、「古河市」と「桜川市」が受賞いたしました。

■古河市 ～歴史的な商家「坂長」の修復・再生～

古河市のこの地域は、博物館や美術館などが点在するミュージアムタウンと位置付けられており、快適に歩行・回遊することができる歩行環境等の整備がされています。

お休み処「坂長」は、江戸時代初期から両替商、後に酒問屋を営んだ商家で、5つの蔵と1つの主屋は、平成12年に国の登録有形文化財に登録され、平成21年には市がこの土地を購入、建物は寄付を受け、出城界限ミュージアムタウン環境整備検討委員会の提言も踏まえ、平成24年にお休み処として修復・再生の整備が行われました。

修復に際しては、周辺の歴史的景観との調和にも十分な配慮をすると共に、文化的な価値を損なわないよう、可能な限り当初の材料や技法を活用しています。

修復後は、飲食施設、市の特産品等が購入できるセレクトショップ、ミニホール、ギャラリー、展示施設及びトイレとして利用されており、市民の憩いの場や市内の回遊軸の拠点施設としてまちの魅力向上に寄与しています。

【お問合せ先】 古河市商工政策課 TEL：0280-92-3111



＜セレクトショップ正面＞



＜飲食施設＞

■桜川市 ～歴史的景観への調和に配慮した多目的複合施設「真壁伝承館」の整備～

桜川市では、老朽化した公民館の建て替えにあたり、歴史的建造物が数多く存在する重要伝統的建造物群保存地区のほぼ中心に位置した江戸時代の真壁陣屋跡地に、歴史資料館や図書館、ホールなどの機能を持つ多目的複合施設（真壁伝承館）を建設しました。

施設の設計にあたっては、周辺の歴史的建造物の実測を行い複数のサンプルを作成し、これらの組み合わせによる配置計画等の検討を公開型市民ワークショップで行うことにより、周辺の歴史的景観に調和したプランを作成しています。また、子供や大人の目線で遠くの山々や町並みを眺めることができるよう大小様々な窓を配するなど、地域と一体となった取り組みが進められており、地区の特性にふさわしい建築物の整備が行われています。



＜真壁伝承館前面全景＞



＜大小様々な窓＞

【お問合せ先】 桜川市真壁伝承館 TEL：0296-58-5111